

第16回 丹波篠山景観写真コンクール入賞作品決定

今年度のテーマは「丹波篠山の風景と暮らし」

最優秀賞



「黒豆収穫」

門脇多美代(三木市)

表彰式は、12月19日(土)に丹波篠山市民センターで行います。



優秀賞



三木操(姫路市飾磨区)

市では、丹波篠山の魅力的な景観を残していきたい景観を多くの人に伝えるため、丹波篠山景観写真コンクールを実施しています。一般の部は70点、児童・生徒・学生の部は63点の作品を応募いただき、審査の結果、次のとおり入賞作品が決定しました(敬称略)。

問い合わせ 地域計画課 ☎552-1118

優秀賞



「祭り囃子が聞こえる」
小山正弘(三木市)

入選

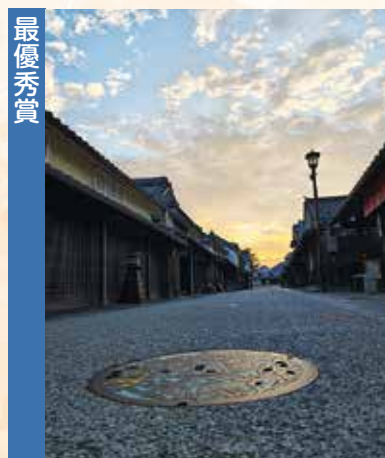
- ・「生きるために」 溝端義男(大沢新)
- ・「大護摩」 白木文枝(京都府福知山市)
- ・「夏休み」 荒木秀和(宇土)
- ・「光とともに始まる朝」 石橋時子(東沢田)
- ・「雪舞う、まけきらい稲荷」 小林芳博(西新町)



創造農村まちづくり賞

「枝豆もぎとり風景」
前川忠夫(高砂市)

児童・生徒・学生の部



最優秀賞

「夕日に染まる河原町」
馬場晃人(篠山東中学校)



優秀賞

「あたたかい夕陽」
河本優月(篠山鳳鳴高等学校)



優秀賞

「宵」
藤井衣奈(篠山鳳鳴高等学校)

入選

- ・「帰省(高校生最後の夏休み)」 鈴木莉来(神戸国際大学附属高等学校)
- ・「緑と夏の額縁」 鈴木優大(屋久島おおぞら高等学校)



Focus

—輝く人たち—
Vol.016



省三窯

市野秀作さん

日本伝統工芸展で
「東京都知事賞」を受賞



受賞作品：灰釉彩鉢「臍」

昭和29(1954)年から毎年開催されている伝統工芸の優れた技と美を競う国内最大規模の公募展「日本伝統工芸展」。第73回を迎えた同展で「省三窯」三代目・市野秀作さんの作品、灰釉彩鉢「臍(おぼろ)」が東京都知事賞を受賞しました。市野さんは、「今まで応援していただいた方、お世話になった方に、よい報告ができました」と、その喜びを話します。

受賞作は、田園風景に広がる美しい夜明けの景色をイメージした直径46センチ、高さ28センチの大鉢。丹波焼の灰釉を基本に、ブルーやピンクなど複数の釉薬を重ね掛けすることで、器の表面を流れるような美しい色彩を生み出しています。その美しい釉薬の流れを生み出すため、細かな工夫を重ねてきた市野さん。祖父が残した研究ノートをもとに、釉薬の割合や試験結果などをもとに改良を重ね、焼成の回数や釉薬の濃度を細かく調整しながら、理想の流れを追求しています。「焼き上がる

催しのご案内

市野秀作 個展

■日時
2027年1月13日(水)～
19日(火)

■場所
大丸神戸店

日本の優れた伝統工芸作品を一室に紹介する「日本伝統工芸展」が、2027年3月7日まで全国各地を巡回して開催されます。この機会に、ぜひご覧ください。

市野さんは大学を卒業後、陶工専門学校を経て作陶の道へ進み、これまで日本伝統工芸展や茶の湯の造形展で入選・受賞を重ねてきました。「今後も、スタート地点に立った気持ちで、新しい作品を作っていきたい」ときっぱり。続けて、「釉薬の割合や焼き方を変えて新たな色彩を追求したり、穴窯を生かした土味のある荒々しい作品にも挑戦したりと、新しい丹波焼の魅力を追いかけていきたい」と熱い思いを話されました。

夢への かけはし

教育やスポーツ、文化・芸術などの分野で活躍する若者たちを紹介します。



篠山東中3年 谷 哲一さん

砲丸投げで、ジュニアオリンピック出場へ

谷哲一さんが、10月23日から25日まで三重県伊勢市で開催される「JOCジュニアオリンピックカップU16陸上競技大会」に出場します。大会には、全国ランキング30位以内の選手が出場。谷さんは13m80cmを記録し全国23位にランキングされ、出場権を獲得しました。

もともとは野球をしていた谷さん。自分の力を試せる個人競技のほうですが、自分には合っていると思い、陸上部へ入部されました。最初は四種競技をめざして取り組んでいましたが、足のケガをきっかけに、砲丸投げに本格的に取り組むようになりました。その後、着実に記録を伸ばし、中学2年生で12m7cmを記録。3年生では、山口県で開催された全日本中学校陸上競技選手権大会で13m80cmまで記録を伸ばしました。

谷さんの持ち味は、力強い投てき。「技術も大事ですが、最後は力で押すことが自分の強み」と話します。現在は14mを投げられる体をめざし、体幹など、全身の強化に取り組んでいます。ジュニアオリンピックでの目標は、14m50cmを投げること。「中学最後の大会なので、力を出し切りたい」と、意気込みを話しました。

大学連携でんしよばと

問い合わせ

神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボ ☎FAX 506-6628
丹波篠山フィールドステーション ☎FAX 506-2366

えきラボ通信



篠山イノベーターズスクール 卒業生インタビューを実施しました!

篠山イノベーターズスクールは、地域の資源を生かした新しい仕事、農村の未来を創る人のためのローカルビジネススクールです。そんなスクールは今年で12期目を迎え、たくさんの起業家を輩出してきました。

今回は、2024年度にスクールを受講し、市内での活動をスタートした10期生の山口美有紀さんを紹介합니다。



篠山イノベーターズスクール10期修了生 山口 美有紀さん (西宮市在住)

持病がある家族のケアや子育てをする中で、体にやさしい食事づくりに興味を持つようになり、薬膳の勉強を始めました。現在は宝塚市や丹波篠山市で薬膳を取り入れた養生ごはんのワークショップを開催しています。昨年には薬膳カウンセラーの認定を取得しました。今後はその知識をワークショップなどに生かしていきたいです。

篠山イノベーターズスクールへの入学をきっかけに、市内の資源や文化などをよく知ることができ、今年11月には丸山集落で3回目のリトリート(※1)プログラムも予定しています。丹波篠山の素晴らしい景観の中で、養生食とアールグヴェーダマッサージ(※2)を行う予定なので、ご関心ある方はぜひお越しください。詳しくはインスタグラムで発信していきます。

※1 心身をリセットし、自分と向き合うための時間や体験。
※2 心身のバランスを整えるインド伝統医学の施術。

ユネスコ創造都市として工芸家の活動が盛んに。市内で活躍する工芸家たちの手仕事に迫り、作品に込められた思いや制作のこだわりを紹介します。



つくる人 Vol.19

いわなが あいこ 岩永愛子さん



約6年前、偶然YouTubeで目にしたキャンドルの制作動画がきっかけとなり、キャンドル

ヨーロッパの伝統的な装飾を取り入れた彫刻キャンドルを手掛ける岩永愛子さん。自分でつくったものを販売し、それを仕事

にしている人たちの姿に憧れ、さまざまなもののづくりに挑戦してきました。

その後、自身のブランド「COMONA(ココモナ)」を立ち上げ、ネットショップでの販売をはじめ、マルシェへの出店やオーダーメイド、企業への卸販売などを行っています。

現在は、ヨーロッパの伝統的な装飾を生かしながら、日本の暮らしにもなじむキャンドルをつくること、地中海をテーマにした作品づくりにも挑戦しています。岩永さんのこれからの夢は、自分のアトリエを持つこと。「そこで、大型キャンドルやウェディング、イベント用の特注作品を手掛けていきたいです」と、今後の活動への思いを話されました。

催しのご案内

○大阪梅田 ルクアイーレ
TOIRO house ポップアップ

■日時 11月13日(金)~26日(木)
■場所 ルクアイーレ(大阪市北区梅田)

○丹波篠山グッドクラフトマーケット

■日時 11月22日(日)・23日(祝・月)
■場所 大手前南駐車場(北新町)

全国から寄せられたふるさと納税の総額は ▶▶▶▶ 6億2,926万円



ふるさと納税が活用されている事業の一部を紹介します！

農の都としての農業振興に関する事業 **2,775万円**

環境や生きものに配慮した「農都のめぐみ米」で、人、自然、文化が共生する農村づくりを進めています。学校給食では農都のめぐみ米を使用し、子どもたちが給食を通じて、地域の農業と自然環境や生きものとの関わりを感じられる機会をつくっています。



伝統文化の保全や教育環境の充実等、文化・教育に関する事業 **5,464万円**

丹波篠山市の歴史をまとめる「市史編さん事業」に取り組んでいます。大学生や市民ボランティアとともに、藩政日記などの貴重な古文書を調査・整理し、ふるさと丹波篠山の歴史を後世へと引き継いでいきます。



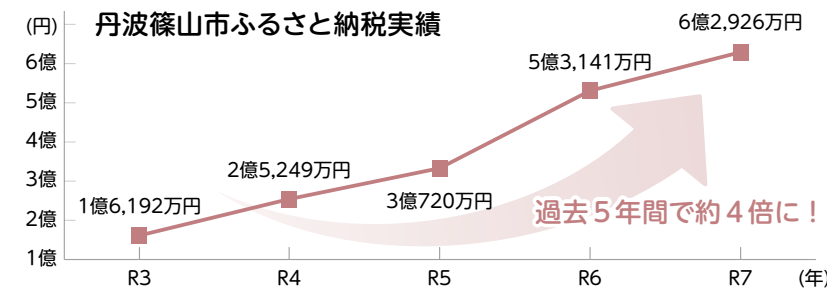
乳幼児医療費助成事業
こども医療費助成事業 **2,442万円**

子育て世代が安心して医療が受けられるよう、医療費の助成を実施しています。令和7年7月から、小学4年生から中学3年生までの通院に係る所得制限を撤廃し、0歳から中学3年生までのこども全員の保険診療にかかる医療費の窓口負担が、入院・通院ともに無償化になっています。



ふるさと丹波篠山に住もう帰ろう運動推進事業 **5,418万円**

「丹波篠山暮らし案内所」を開設し、移住や空き家の相談を受け付けています。また、市内の物件・仕事・農業・暮らしに関するさまざまな情報を提供し、その取り組みの成果として移住者数は着実に増加しています。



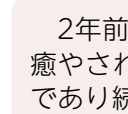
生まれ育った町や、応援したい町を選んで納税できる制度として創設された「ふるさと納税」。自治体に寄付を行うことで、離れていても「ふるさと」を応援できる制度です。丹波篠山市では昨年度、返礼品の見直しや生産者との連携強化により「ふるさと納税」の寄付額が伸び、全国から約2万4000件以上もの寄付が寄せられました。寄付額は6億2926万円の過去最高額となり、多くの皆さんから、魅力ある丹波篠山市の維持・発展を願う温かいご支援をいただきました。

こうして寄せられた寄付金をまちづくりの財源として、寄付者の皆さんに選択いただいた使い道に沿って、事業を進めていきます。

応援のメッセージが届いています (寄付者から本市に送られたメッセージを紹介します)



昨年初めて旅行に行き、丹波篠山の自然豊かな地域に魅了され今年も伺いました。微力ながら応援したいと思います。



2年前に観光で訪れた時に、自然豊かな景色にとても癒やされました。これからも安らぎを与えてくれるまちであり続けてほしいです。



黒枝豆大好きです！現地に買いに行けないので、ふるさと納税で応援します！

令和7年度 丹波篠山市 ふるさと納税

ふるさと納税は、応援したい自治体に寄付を行う仕組みで、返礼品を受け取ったり、寄付金の使い道を指定して寄付したりすることができます。

今回は、市のふるさと納税の実績と、どのように活用されているかについてお知らせします。

問い合わせ 創造都市課 ☎552-5796

今月の「こんにちは市長室」

市長が市政に対してのご意見やご要望をお聴きする場として開催しています。事前の申し込みは不要で、個別での面談形式、または懇談会形式となります。

と き 11月11日(水) 13:30~16:00
ところ 西紀しゃくなげ会館 2階会議室
問い合わせ 市長公室 ☎552-5109

ふるさといちばん

市長の **HOT** と一く

丹波篠山の時代をつくろう



二十年を節目に引退を表明

ありがとうございます

一、私は来年2月の市長選には出馬せず、引退することとしました。

丹波篠山市は大変良い流れになってきたと思っています。農業が盛んで黒豆などおいしいものがたくさんあること、小京都といわれる美しいまちなみ、自然が保たれ、文化の薫るまちであることなど、その魅力が認められてきました。

観光客はどんどん増え、ここで暮らしたいという移住希望者も多く、住みたい田舎ベストランキング全国10位(同規模人口の自治体で)とも報じられています。

しかし、大きな課題はここに生まれ育った若者が定着し、かけがえのないふるさと丹波篠山を未来につないでいくことです。この課題に挑戦していくためには、やはり若い次の世代に任せられた方が良く考えたからです。



▲今年の黒枝豆販売解禁セレモニー

二、例えば、市民の皆さんには長らく大きなご支援をいただき、本当に心から感謝申し上げます。40歳のとき、県議会議員に挑戦してから、県議会議員として3回、52歳で市長選に臨み、5回、市名変更の時に市長を辞して臨んだため、あと1回あります。



▲初めての選挙

三、私も一生懸命頑張ってきました。就任当初の危機的財政の克服と市名変更が特に大きなことでした。また、ま

四、市民の皆さんから「さみしくなる」と言ってもらえ、残念なのはデカンショ祭のあんどんに市長の似顔絵を描いてもえなくなることです。



▶デカンショ祭のあんどんとても上手！ 前髪もはえています!!



地元で働く選択肢

新型コロナウイルス禍以降、地方での就職や移住を検討している人が増え、地方回帰が注目されています。

市内ではどんな企業が活躍しているのか、インタビューを通じて紹介します！
創造都市課 ☎552-5796

管理部課長に聞く！
ここで働く魅力



共栄樹脂の特徴・魅力

兵庫県、福井県、茨城県の3県に製造拠点をもち、多種多様なニーズに迅速に対応できる生産体制を整えています。最大の強みは、景気の変動を受けにくい「食品向け用途」が全体の9割を占めている点で、時代に左右されない強固な企業体質を築いています。また、環境配慮型製品の開発にも積極的に取り組んでいます。

一緒に働きたいと思う人材は？

入社時点で特別な技能や専門知識を持っている必要はありません。一番求めているのは「実直な人」です。仕事で失敗することがあっても途中で投げ出さず、諦めずに前を向いて取り組める方であれば大歓迎です。手厚い育成システムを準備しているので、安心して飛び込んでください。



共栄樹脂株式会社

所在地：丹波篠山市西阪本 46-1

TEL：593-1313

事業内容：

食品トレーや住宅建材、自動車部品などの原料となる「プラスチックシート」の製造

「共存共栄」の精神で食や暮らしを支える、日本屈指のプラスチックシート総合メーカー

私たちの生活に欠かせない食品トレーなどの原料となる「プラスチックシート」を製造する共栄樹脂株式会社。「もっと快適に、もっと豊かな明日へ」を掲げ、日本の食文化やものづくりを陰から支える存在として進化を続けています。

仕事で大変だと感じる部分や、それを乗り越えられる理由

一つのミスが製品全体に影響してしまうため、作業一つ一つの手順や正確な動きを覚えるまでは慎重になります。ですが、親身になって教えてくださる先輩方がたくさんいて、いつでも気軽に質問・相談できる環境があるので、安心して仕事に向き合えています。

地元で働くことを選んだ理由

もともと地元である丹波篠山が大好きだという思いがありました。住み慣れた土地だからこそ感じる心の余裕や暮らしやすさが、そのまま「仕事の働きやすさ」に直結すると感じたのが大きな理由です。

数ある企業の中から「共栄樹脂」を選んだ決め手



会社が掲げる「共存共栄」という企業理念に強く共感したことが一番のきっかけです。自社だけでなく周囲の環境や地域を大切にするスタンスに魅力を感じました。福利厚生や通勤面などを総合的に見ても、安心して長く働ける環境が整っていると確信し、入社を決意しました。

職場の雰囲気、「自分らしい働き方」

職場はとてもフランクな雰囲気、先輩や同僚とも気兼ねなく雑談ができる心地よい関係が築けています。「自分らしい働き方」として実感しているのは、仕事とプライベートにしっかりメリハリをつけられる点です。長期休暇を含めた休日制度が充実しているため、オンとオフを切り替えてリフレッシュできています。休日は趣味の読書やゲーム、野球のほか、最近では小説の執筆にも挑戦するなど、プライベートの時間も思いっきり満喫しています。

地元で就職を考えている高校生・大学生へメッセージ

「自分の視野を狭めないこと」を伝えたいです。進路を考える際、一つの選択肢だけに集中しすぎてしまうと、自分でも気づいていない適性や可能性を見落としてしまうことがあります。ぜひ広い視野を持ってさまざまな企業や選択肢を見比べ、その中で心から「自分に合う」と思える場所を見つけてほしいと思います。

